

令和3年度

事業報告書

法人本部

特別養護老人ホーム

(栄養部門)

(看護部門)

阿木デイサービスセンター

居宅介護支援事業所

ヘルパーセンター

グループホーム

大井シクラメン

包括支援センター

社会福祉法人 敬愛会

		敬愛会 法人本部 令和3年度 事業報告 (概要報告)	
①	事業実績	法人運営の基盤強化 各種規程整備 (改正・制定) 感染対策助成事業 開設20周年事業	施設内監事監査実施 外部会計士(定期的診断) 就業規則・給与規定の改正(特定処遇改善加算分の支給) 人事異動規定の整備 臨時職員規定・キャリアアップ奨励基金規定の改正 県のコロナ感染対策費用の助成により感染対策備品の購入 記念誌発行・感謝の碑建立(花壇整備)・写真展開催
		項 目	実 施
②	会議	理事会	7回(5月・6月・9月・10月・12月・2月・3月)開催 6月＝役員の改選及び理事長の選出
		選任解任委員会	1回(5月29日)開催 新評議員の選任
		評議員会	3回(6月通常評議員会開催 12月・3月臨時評議員会) 6月＝決算承認、新役員の承認
		運営会議	毎月2回開催(24回) 拡大運営会議(次長職以上)3回
③	運営	感染対策	職員への行動指針、施設への入館規制、面会制限など実施 入居者・全職員対象に3回のワクチン接種実施
		人材育成	1、介護人材育成事業所認定制度グレード2更新 2、外国人技能実習生の三期生面接・内定(2/3名)1名辞退 3、地域外国人材(在留資格特定技能)3名内定(インドネシア) 4、キャリアパス評価制度の実施・活用
		大井厨房	ゼネラルと食材配送契約 大井厨房職員を法人雇用
④	研修・事業	研修	法令遵守研修会 職員全体研修会を中の島で実施
		監査・評価	外部評価 事業所満足度調査を実施し、結果を第三者評価委員に報告して意見聴取 監査 監事監査の実施
		新規事業	共用型認知症対応型通所介護ニグループホームでデイサービス開始
		地域貢献事業	施設車両利用(貸出)＝14件 多目的ホール使用＝0件(コロナ禍)
⑤	その他	取組み報告	1、中津川市第8期保健福祉計画による特養増床計画検討開始 2、外部コンサルタントと契約。増床事業も含め経営診断依頼 3、サービス付き高齢者住宅運営計画の見直し(計画保留)
		設備・備品	1、特養ナースコールの入替えを実施 (愛のともしび基金の助成)業務用洗濯機入替えを実施 (3年計画)特養入居者用電動ベッドを順次入替え実施 2、施設車両(助成金車両以外)、順次保有からリース契約へ変更 3、大井シクラメン：1Fフロア空調入替え工事実施 特養2F3丁目：職員用トイレ整備
		行事・生活	1、阿木シクラメン夏祭り：コロナ禍のため規模縮小、小規模花火打上 2、大井シクラメン納涼祭：コロナ禍のため中止 3、全ての事業所：コロナ感染予防対策により外出・外來行事の中止 4、ガラス越し面会・LINEによるビデオ通話面会の実施
		地域	民生委員による花壇の整備(コロナ禍のため1回実施)
⑥	成果と課題	課題	1、EVの老朽化に伴う大規模メンテナンス必要、1～2年以内に主要部品の入れ替えが必要であり、2基約2千万円を見込む 2、1F事務室周辺の空調入替え必要、1千万円を見込む
		次年度の展望	1、設備の耐用年数に留意し、施設機能の維持のための計画的な機器の更新や修繕を実施し、設備の維持管理に努める 2、特養増床に着手する年度にあたり、各事業所においても既存の業務を精査し、適正な人材の配置や業務の標準化・平準化を図る 3、法人の運営状況を見極めながら、事業の拡充に向けた検討を進め、サ高住や新たな事業などについても随時検討し、段階的に取組む

事業部門 基本方針		特別養護老人ホーム シクラメン														
①	利用者中心の サービス提供	○特養入退所状況表 入所者状況														
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
		入所者	2	2	1	0	1	0	4	3	1	0	2	1	17	
		内 訳	在宅		1					1				1	3	
			老健他	2	1	1		1		4	2	1		2	14	
			病院													
		退所者状況														
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
		退所者	2	2	0	0	1	2	4	2	0	2	0	1	16	
		内 訳	施設	2	2			1	2	3	1		2		1	14
			病院								1					1
			入院他							1						1
○令和3年度稼働率（令和2年）・入所 97.0%（97.5%） ・ショート 92.7%（93.1%） ○ケアプランに基づいた個別ケアの実施（月1回のモニタリング記録の整備）																
		計 画						取 組 み								
②	地域福祉への貢 献	1	ボランティア・福祉体験の受け入れ						①	感染症対策のため受け入れを中止する。						
		2	地域の方々も参加して頂ける 行事の計画・実施						①	感染症対策を行い、職員と利用者で施設内に て開催。（デイサービスホール使用） 夜間、市販花火にて音楽花火を実施。						
③	職員の資質の向 上	1	施設内研修の実施						①	施設内研修 6 回実施（前年度 9 回） 累計参加職員数 121 人（前年度 135 名）						
		2	介護福祉士資格取得の奨励						①	介護福祉士初任者研修 1 名履修 介護福祉士実務者研修 3 名履修 介護福祉士国家試験 2 名合格						
		3	喀痰吸引実地研修の実施						①	指導看護師 2 名在籍 新制度介護福祉士に対する研修実施（1 名）						
		4	苦情受付体制を整える						①	ショート 1 件/8 月・入所者 1 件/12 月 計 2 件 （業務内容・接遇）						
		5	利用者の健康管理 感染症の発症・蔓延予防						①	インフルエンザ 発症 入所者 0 名（R2.0 名）						
									②	事故報告書件数 118 件（122 件）内骨折 2 件 ヒヤリ・はっと件数 491 件（529 件）						
⑤	健全経営の確保	1	基準に沿った円滑な入所判定 と手続き						①	入所判定会議の開催 11 回/年 入所申込者の現状把握 2 回/年						
⑥	今年度の成果	1	医療的ケア教員研修履修						①	医療的ケア教員研修 看護師 1 名参加						
		2	ネット配信の研修会						①	看護師 12 回/年 ユニット 19 回/年						
		3	ショートステイ新規利用者の契約・利用						①	新規契約 20 名（11）利用件数 19 名（ 6 ）						
⑦	来年度への課題	1	継続的な感染症対策の実施。 特養増床に向けての準備と効 率の良い業務内容の見直し。 資格取得の奨励。						①	・標準的感染症対策を基本に感染対策を継 続し、利用者・職員の感染防止に努める。 ・令和5年度末までに 20 床増床の計画に 伴い体制の準備と効率的な業務の見直し を既存の施設も含めて行う。 ・介護福祉士、介護支援専門員資格取得を 奨励し保有者の増加を目指す。						

令和 3 年度 事業報告書									
事業部門		栄養室							
基本方針									
①	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	<食事形態別人数> 名)		3/31 現在 70 名(内入院 2 名)(前年度比+1					
		主食	米飯	軟飯	粥	ミキサー粥	経管栄養	その他	
			13 名(-3)	18 名(+2)	22 名(-2)	8 名(+1)	4 名(±0)	3 名(+1)	
		副食	軟菜	刻み	極刻み	ミキサー	ソフト	その他	
14 名(-1)	29 名(+1)		15 名(-2)	3 名(±0)	1 名(±0)	2 名(+1)			
		計 画			取 組 み				
②	地域福祉への貢献	1	地域の方の低栄養を予防			①	配食サービスの献立・献立表作成実施。		
③	職員の資質の向上	1	専門職としての知識向上を図る			①	保健所主催の研修に 2 回参加。		
						②	地域栄養士会での情報交換や勉強会は今年度開催されず。		
④	安全管理の徹底	1	食中毒・感染症予防			①	衛生講習（手洗い・食中毒・ノロウイルスなど）実施。（2 回）		
						②	消毒液は通年アルペットとし、手指消毒の徹底、手洗いの注意喚起行う。		
		2	非常事態への準備			①	利用者非常食 9 食分、職員非常食 3 食分を災害用倉庫と厨房内の定位置に配備。利用者分 9 月に入れ換え実施。		
⑤	健全経営の確保	1	栄養ケア・マネジメントの実施			①	食事摂取状況や身体状況把握。低栄養予防の為に計画、実施できている。		
						②	月 1 回多職種と会議を実施。		
		2	栄養マネジメント強化加算の算定			①	8 月から算定。1 月からは栄養士の体制不足により実施できず。 加算：11 点/日/人		
		3	利用者様に合った献立作成を行う			①	利用者様の栄養・健康状態を維持でき、食事を楽しんで頂けるような献立作成に努めた。		
						②	各疾病に配慮した療養食献立作成実施。 3 月時点 糖尿病食 6 名 心臓病食 6 名実施 加算：6 点/食		
						③	可能な限り、個々人への対応を実施。（アレルギー、嗜好、体調など）		
		4	食事での改善点の検討や新しい提案を行う			①	食事委員会月 1 回予定通り実施。		
②	厨房と常時連携を取り合うよう努めた。改善してもらいたい点是对应してもらえるよう随時伝えた。								
⑥	その他	1	食事を楽しんで頂ける催しをする			①	コロナ禍の為流しそうめんは中止し献立でそうめんを提供。忘年会はユニット行事として実施。朴葉寿司はユニットで職員が作成し提供する形で実施。		
						②	季節に合わせた行事食の提供実施。		
						③	個々人の誕生日のお祝い実施。		
		2	大井シクラメン、DS、GH の食事に関する対応			①	献立・献立表作成実施。大井シクラメンは施設運営になりそれに伴う対応を実施。		
⑦	成果と課題	【成果】・新たに栄養マネジメント強化加算の算定が栄養士の体制が整っている間のみ だが実施できた。来年度になってから再開予定。 ・コロナ禍でも方法を少し変えるなどで概ねのイベント食は実施できた。 【課題】・栄養ケア・マネジメントが加算から減算となる為、今後新規暫定でのプラン作成が必要となる。来年度より実施できるようにする。 ・厨房換気扇工事の為厨房が使用できない日がある（日程未定）。対応策を早めに検討し計画していく。 ・コロナでの食事の対応での使い捨て食器などの準備、在庫管理を行う。							
・4/14 栄養ソフト入れ替え実施 ・8/6 パススルー冷蔵庫入れ替え実施 ・6/23 消毒保管機、包丁まな板殺菌庫入れ替え実施									

令和2年度 事業報告書					
事業部門 基本方針		特別養護老人ホーム シクラメン 看護師			
		計 画		取 組 み	
②	利用者中心のサービス提供	1	健康状態とリスクを把握したアセスメントを行い、ケアプランに活かす。	①	日常の健康状態から起きうるリスク把握し、ケアプランに活かすと共に、朝の医務室カンファレンスで情報共有を行う。
		2	利用者健康診断を実施	①	利用者の健康診断実施 (9月実施) ・レントゲン検査 58名 ・血液検査 63名
		3	定期的(1回/3ヶ月)な感染対策委員会を開催	①	定期的な開催と流行期には随時実施。 マスク着用・面会制限など拡散防止に向けた対策と周知。
		4	利用者・家族様の意向に沿った個別のターミナルケアを行う。	①	施設内での看取り 15名 感染対策のため面会を制限していたが看取りの際は一律に制限せず短時間で面会実施。 看取り終了後、振り返りのデスカンファレンスを行い気づきなど意識の変化に繋げる
③	職員の資質の向上	1	施設内研修の実施	②	医的ケア研修会 (5月・10月) 認定看護師派遣事業 (10月・11月)
		2	施設外研修への参加	②	岐阜県看護協会 6回(8名参加) 日総研 1回(1名参加) 岐阜県老施協 2回(1名参加)
		3	喀痰吸引実地研修の実施	②	指導看護師1名在籍 50時間研修履修者に対する研修実施(3名) 新制度介護福祉士に対する研修実施(5名)
③	今年度の成果	1	感染症対策の整備	②	感染担当看護師を中心に、感染症対策の見直しと施設内での発症時に行うゾーニングや職員配置などの整備ができた。
		2	研修講師の派遣	①	岐阜県老施協が主催する喀痰吸引等研修の講師として喀痰吸引等実地研修指導看護師を1名派遣。講義と実技を行う。(10.11月)
		3	計画的な職員教育と学びの機会の増加	②	研修で学んだ事を看護師間で共有し、日常の業務に活かせる知識や技術は介護職員へ伝達研修を行う。
		4	認定看護師派遣事業の活用	②	岐阜県看護師協会の認定看護師を講師として施設に派遣依頼を行い一つのテーマを継続的に学ぶことができ、看護師間の認識の統一が出来た(テーマ 皮膚・排泄ケア)
④	来年度への課題	1	施設内感染症の蔓延防止	①	ワクチン接種を安全かつ計画的に行い、適切な予防措置を行い感染症の蔓延を防止していく取り組みを続ける。
		2	継続的な職員教育	②	看護師、介護職員共に自己研鑽に努め、意欲的に学べる環境を整える。

令和3年度 事業報告書

事業部門
基本方針

阿木デイサービスセンター

【利用者数】

利用者中心のサービス提供（利用実績含む）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援1	人数/	1/	2/	2/	2/	2/	3/	3/	3/	4/	4/	4/	4/	34/
	延人数	4	8	9	7	9	13	11	12	15	15	15	18	136
支援2	人数/	8/	8/	9/	8/	8/	7/	8/	8/	7/	8/	7/	8/	94/
	延人数	43	34	44	46	43	40	41	37	43	41	45	52	509
介護1	人数/	35/2	35/2	32/2	35/2	34/2	34/2	36/2	37/2	35/2	35/2	34/2	35/2	417/
	延人数	78	79	60	70	58	71	74	52	38	33	24	50	3087
介護2	人数/	17/1	18/1	19/1	20/1	20/1	19/1	18/1	19/1	20/1	21/1	20/1	17/1	228/
	延人数	37	44	66	69	66	76	64	27	55	52	48	46	1850
介護3	人数/	14/1	12/1	13/1	14/1	14/1	14/1	14/1	14/9	12/9	11/9	10/8	10/9	152/
	延人数	06	03	09	38	33	22	29	8	9	0	1	6	1304
介護4	人数/	8/	8/	8/	9/	8/	9/	9/	8/	8/	6/	7/	8/	96/
	延人数	92	84	79	91	74	77	85	77	73	46	46	61	885
介護5	人数/	2/	2/	2/	2/	2/	2/	1/	2/	1/	0/	1/	2/	19/
	延人数	11	15	13	12	13	6	4	8	3	0	1	16	102
総合事業	総合事業	9/	10/4	11/5	10/5	10/5	10/	11/	11/4	11/	12/	11/	12/	128/
合計	合計	47	2	3	3	2	53	52	9	58	56	60	70	645
介護	介護	76/6	75/6	74/6	80/6	78/6	78/6	78/6	80/5	76/5	73/5	72/5	72/5	912/
合計	合計	24	25	27	80	44	52	56	62	68	21	00	69	7228
合計	合計	85/	85/	85/	90/	88/	88/	89/	91/	87/	85/	83/	84/	1040
		671	667	680	733	696	705	708	611	626	577	560	639	7873

* 可動日数 309日(職員 1名 新型コロナウイルス感染に伴う休業 2日間含む)

1日平均 25.5名(目標：29.1名)

* 個別機能訓練加算Ⅰ、ADL 維持等加算Ⅱ、中重度者ケア体制加算、若年性認知症利用者受入加算

* 利用者ニーズに合わせ入浴・機能訓練・余暇活動を提供。

* 毎月の余暇活動(工作)と季節に合わせた行事を実施。

		計 画				取組み								
②	地域福祉への貢献	1	地域ニーズに沿ったサービスを充実させる				・ 介護予防事業「あんきなくらぶ」への参画 ・ 認知症サポーター養成講座 講師 ・ 地域個別ケア会議への参加							
		2	地域交流の活用・活動に勤める				・ ボランティア見学者の受け入れ：0 件							
③	職員の資質の向上	1	専門職としての資質の向上を図り、専門性の高いデイサービスにする				・ 毎月専門職連絡会時 WEB 研修開催(全職員) 接遇、記録、介護技術に関する研修 ・ 個別ケア充実に向けたアセスメント実施							
④	安全管理の徹底	1	利用される方や家族が安心・安全に利用していただけるように努めます				リスクマネジメント委員会開催(1 回/月) ・ 介護事故:39 件(転倒 22 件、外傷 15 件、与薬ミス 2 件) ・ ヒヤリハット:219 件 ・ 苦情：0 件 ・ 車両事故:5 件 ⇒安全運転講習(12 月)							
		2	感染症の予防に努めます				・ 利用者手指消毒(来所時・食前・おやつ前) ・ テーブル・手すり等の消毒 ・ 新型コロナウイルス対応 利用者乗車前検温、マスク着用、パテーション設置 職員 PCR 検査実施(9 月・10 月・2 月)							
		3	災害時対応できるよう努めます				・ 非常災害対策訓練実施 1/27 図上訓練 3/29 避難誘導訓練							
⑤	健全経営の確保	1	サービスの質の向上				・ 業務改善：月 1 回デイ運営会議・専門職連絡会							
		2	デイ利用者の確保や選ばれる施設作りに努めます。				・ 満足度調査の実施 ・ 余暇活動の充実と共に広報を強化(見える化) 広報誌年 4 回発行							
		3	経費の見直し				・ 業務効率化を図るため、随時業務見直し実施							
⑥	成果	・ コロナ禍が継続する中ではあるが、事業所内感染拡大防止を図ることができた。 ・ 個別ケア充実のため、アセスメント力のさらなる強化に向けた取り組みができた。 ・ 専門職連絡会により、業務改善に向けた職員間の情報共有、協議の場が増えた。 ・ 毎月、資質向上に向けた WEB 研修を開催することができた。 ・ 広報委員会設置し広報誌の見直しを行った。満足度調査結果では「わからない」回答も減少傾向にあった												
	課題	・ 評価に基づいた、さらなる個別ケアと余暇の充実を図る必要がある⇒評価体制の強化 ・ 地域の利用者数減少傾向あり。近隣地域の利用者も増えつつあるが、健全経営のため当事業と共に、地域ニーズに沿った柔軟性かつ多様性のある事業展開(資源の掘起し)も引き続き検討する必要がある。												

令和3年度 事業報告書

事業部門		居宅介護支援事業所 シクラメン			
基本方針					
①	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	要介護1～5 実績人数 1178名(月平均 98名) 要支援1～2 実績人数 179名(月平均 15名) 職員数 3.5人(加算Ⅲ) 4月～10月 4.5人(加算Ⅱ) 11月～3月 (一人担当平均月/28件)			
		計 画		取 り 組 み	
②	地域福祉への貢献	1	地域を考え、地域を作る	①	地域ケア個別会議への参加 阿木ふるさと福祉村との連携 生活支援コーディネーターとの連携会議(2回)
		2	認知症の方も安心して暮らせる地域・福祉と医療関係機関との連携	①	新型コロナウイルス感染症の為、 FAX・電話・オンラインでの連携 民生委員・警察との連携
		3	在宅医療と福祉を考える事を地域へ発信	①	阿木診療所とカンファレンス(1回) 地域医療研修参加
		4	地域力の底上げ	①	ケアマネ実務研修の実習生受入れ協力(0名)
③	職員の資質の向上	1	専門職として必要な情報収集	①	県居介協等研修会参加 ケアマネ部会(恵那・中津川)参加 (オンライン含む) フォローアップ研修等動画研修視聴 主任研修終了 1名 更新研修Ⅰ終了 1名 実務研修終了 1名
		2	居宅での情報共有・改善提案	①	サービス提供の為の留意事項に掛かる 伝達会議等を目的とした週1回以上の 会議開催 介護支援専門員の特養からの異動1名
		3	事例検討より学ぶ	①	他法人間研修 地域個別ケア会議の事例提供 虐待研修会への参加(オンライン)
		4	障害分野・成年後見との連携	①	障害・成年後見人との相談・連携
④	安全管理の徹底	1	ケアマネ服務について	①	感染症対策 業務継続にむけた取り組みの強化
		2	ケアマネの質の向上	①	法令順守・守秘義務・相談様式見直し 介護支援専門員の研修参加 (オンライン)
		3	利用者、家族が安心してサービスが受けられる	①	個人情報の漏えい防止への意識の徹底。 (個人ファイルの管理)
⑤	健全経営の確保	1	サービスの質の向上	①	運営基準に沿った業務管理 利用者から選ばれる居宅に努める
		2		②	処遇困難な方の受入れ等
		3		③	24時間連絡体制の確保と必要時相談 に応じる体制の確保
成果と課題		新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインで開催される研修が多くなり、それぞれの介護支援専門員が多くの研修に参加することができた。特養からの異動で介護支援専門員が増え、業務を教えながら、新しい視点や、居宅内で共有すると良い点等確認することの気づきが得られた。 【課題】①介護支援専門員の人材育成 ②感染対策しながらの業務継続 ③地域作り・人作りにむけて			

令和 3 年度 事業報告書															
事業部門		ヘルパーセンター													
基本方針		・ 土日の営業、早朝夜間対応がある事業所として、また特定地域加算事業所、特定事業所加算のある事業所として、ケアマネジャーとの連携を密にしながら、登録ヘルパーの活動により、出来る限り対応。ご利用者の意思、人格を尊重した活動内容、計画的な職員研修、定例ミーティングを実施し誠意を持ったサービス提供を実施。													
④	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	職員体制 管理者（1.兼務）常勤（2）契約・常勤パート（1）登録（10） サービス提供地域 中津川市（主に阿木地区、手賀野・茄子川） 恵那市（主に大井、長島、笠置、飯地、中野方、武並、三郷、岩村、山岡） 利用者実績数（延べ回数）													
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		人数	49	49	50	52	50	47	46	48	48	46	47	48	580
		前年	55	53	57	58	55	58	60	61	62	55	55	54	683
		※ 訪問延べ件数 7069 件（前年－609 件） 訪問時間合計 6389：前年比 －482 時間													
		計 画					取組み								
②	地域福祉への貢献	1	地域のニーズに沿ったサービス提供					②	地域の関係機関との連携を密に実施。 可能な限り提供可能時間帯におけるサービスの提供を行う。 年末年始休業中の特別対応 実績 0 件						
		2	障害者を家族に持つ高齢世帯への支援					③	ケアマネと連携し、家族の方にも寄り添いながら支援						
③	職員の資質の向上	1	個別研修計画により、新人研修、スキルアップ研修を行い、質の高いサービス提供を行う					①	サービス提供責任者向け研修参加 事業所内研修 4 回実施。介護知識、技術の向上 多職種連携研修 参加						
								④	地域包括支援センターなどの研修への参加						
④	安全管理の徹底	1	全職員健康診断 年 1 回 全職員腸内細菌検査 年 2 回					①	9 月実施						
								②	4 月、10 月実施						
		2	感染症予防					①	全職員インフルエンザ予防接種 新型コロナウイルスワクチン接種・県による PCR 検査						
								②	研修参加し、感染予防に努める マニュアルに沿ったサービス提供の実施						
⑤	健全経営の確保	1	サービスの質の向上					③	定例ミーティングにおける事例検討 各種研修会への参加・事業所内研修会実施						
		2	新規利用者の受け入れ					②	ケアマネと連携し可能な限り対応						
		3	新規登録ヘルパーの養成					③	新規登録ヘルパー 採用なし						
⑥	成果と課題	成果	研修を行って来た為、他事業所より、接遇と対応が丁寧と評価を頂いたの で、今後も続けられる様に行う。 土・日ヘルパーの出勤率も少し良くなり、訪問の対応が出来た。					課題	訪問件数・新規利用減少傾向、登録ヘルパー数名退職の為、ヘルパー増員をし、新規利用者確保に努めたい。						

令和3年度 事業報告書																		
事業部門		グループホーム・グループホームデイサービス（R3.10.16より開始）																
基本方針		※令和3年度は行事・会議等を『コロナ感染症対策』をしながらの対応とした。																
⑤	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	・1ユニット9名 利用率 98.9% 1日利用平均 8.9名 ・入退所状況 退所 2名（特養へ転居） 入所 2名（R3・5月2日、R4・2月18日） 入院者 3名 ・ショートステイの実施／2月13日～15日 1名実施（入所に向けて試験的に） ・4月25日 春の家族会中止（写真・お手紙交流会）施設内行事昼食会実施 ・11月27日 秋の家族会中止（お手紙交流会）施設内行事五平餅会実施 ・中津川市のグループホーム部会に参加 ・運営推進会議6回開催（内5月・7月・9月・3月は感染症対策のため中止） ・外部評価・11月2日「びーすけっと」にて受ける。指摘された事項は改善した。 ・五感健康法（感染症対策のため中止） ・阿木高校生との交流会：6月・12月の2回リモート実施した。 ・回想法：11月～3月の第1金曜日にリモート実施した。 ・その他・地域交流行事については、感染防止対策の為に中止した。																
		・計画		取組み														
②	地域福祉への貢献	1	阿木地区・地域交流	⑤	阿木高校リモート交流会（6月・12月） 認知症サポーター養成講座（阿木高校・6月）													
③	職員の資質の向上	1	実務者研修	①	今年度受講者なし													
		2	各種研修・資格習得	③	初任者研修・講習会1名受講 介護支援専門員更新研修1名受講													
		3	月1回事業所内研修	①	お茶の水ケアサポート研修の活用													
④	安全管理の徹底	1	事故防止	③	・転倒事故 6件（内・骨折事故 1件 受診し右大腿骨頸部骨折の為入院治療） ・誤嚥窒息事故 1件（誤嚥性肺炎・入院） ・ヒヤリハット 21件 GHの緊急時対応マニュアルを再確認 消防署による救命講習会を実施・会議にて報告													
		2	感染症マニュアル	①	敬愛会感染症マニュアルに準じて整備した。 コロナ感染対策にて、ワクチン接種を3回 とPCR検査を9月・10月・2月に実施。													
		3	防災マニュアル	②	避難訓練を特養に乗じて行う（3月）													
				②	夜間対応想定避難訓練（3月）・連絡網伝達													
⑤	年間行事計画	1	季節感のある行事		4月苺会食・5月朴葉餅作り・そば打ち 6月朴葉寿司作り 7月柏餅作り・七夕会 8月夏祭り・流しそうめん・9月ぶどう行事 10月ドライブ・弁当購入・11月五平餅会家族との 交流会・芋きんとん作り 12月忘年会 ・クリスマス会 1月初詣・書初め 2月節分会・3月吊るし雛見学・からすみ作り 主に施設内行事で行った。													
		2	誕生会	①	入居者の誕生日に合わせて行った。													
		3	個別外出	①	受診等・必要に応じて、最小限にて対応した。													
⑥	グループホーム デイサービス		感染防止のため10月 18日より開始。 （月・水・金曜日に て実施した。）	率	<table><tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>78%</td><td>71%</td><td>87%</td><td>64%</td><td>61%</td><td>51%</td></tr></table> 4名の利用者様でスタートし、内1名がGH入所に繋がった。3月時点で4名の利用者あり		10月	11月	12月	1月	2月	3月	78%	71%	87%	64%	61%	51%
10月	11月	12月	1月	2月	3月													
78%	71%	87%	64%	61%	51%													
⑦	成果	① コロナ感染対策しながらも、新しい行事計画を立て、実施した。 美容に関するレクリエーションを行い、女性利用者様の関心がある事が出来た。																
	課題	② 新規事業で「グループホームデイサービス」の稼働が始まった。 ③ 地域交流の機会減少、阿木高校生との交流会・「回想法」のリモート対応により今後のヒントが得られた。（GH独自の方法として検討することとする） ① 救急搬送に備え、緊急時対応を常に行えるように準備しておく。 ② 職員間の「報告」「連絡」「相談」「申し送り」が不充分。 他部署との連携も必要になっている為、今後の対応についても工夫していく。 ③ 利用者の最新の情報収集、情報共有を心掛けて、安全な生活が送れる様に支援することを職員周知する。																

基本方針		令和3年度 事業報告															
①	利用実績	デイサービスセンター 大井シクラメン															
		【利用者数（単位：人）】															
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
		要支援1	人数	6	6	6	6	7	6	7	6	5	5	5	5	70	
			延人数	25	22	23	19	29	24	26	24	18	20	18	21	269	
		要支援2	人数	5	5	7	6	7	7	6	6	6	4	4	4	69	
			延人数	41	41	50	43	51	51	42	40	35	33	31	31	489	
		要介護1	人数	12	15	15	17	16	16	17	19	18	16	17	17	195	
			延人数	83	102	109	127	118	114	122	135	126	103	109	116	1364	
		要介護2	人数	19	17	17	15	13	14	15	15	16	16	11	14	182	
			延人数	165	157	141	130	131	127	136	132	131	108	82	116	1556	
		要介護3	人数	10	11	11	11	12	13	13	12	12	14	14	15	148	
			延人数	64	75	71	77	86	104	94	91	89	89	106	132	1078	
		要介護4	人数	8	11	11	10	9	7	8	7	9	8	7	9	104	
			延人数	57	71	69	60	70	60	71	67	71	62	48	62	768	
要介護5	人数	7	5	5	5	4	5	5	5	4	4	5	4	58			
	延人数	42	39	37	40	29	35	33	31	29	24	28	32	399			
合計	人数	67	70	72	70	68	68	71	70	70	69	63	68	826			
	延人数	477	507	500	496	514	515	524	520	499	439	422	510	5923			
		＊1日平均利用者数 16.4 人[稼働率 65.6%]（前年度比人-0.1） ＊1日あたりの利用目標数 17.5 人 ⇒ 達成率 93.7%															
		計 画					取組み結果										
②	地域福祉への貢献	1	利用者ニーズに対応できるサービス提供					・希望に沿った時間帯での利用受入れ（短時間利用等）									
		2	ボランティア・介護実習生の受入れ					・感染症対策のため受入れを中止									
		3	地域交流(8/28 納涼祭)					・感染症まん延防止のため中止									
③	職員の資質の向上	1	施設内研修の実施					・お茶の水ケアサービス学院フォローアップ研修ネット配信の活用(年 9 回研修実施)									
		2	介護サービスの質の向上					・感染症まん延防止のため施設外研修は不参加 ・2/4 施設内研修「食事姿勢の基礎研修」実施									
④	安全管理の徹底	1	事故防止委員会					・月一回「事故防止委員会」実施 DS 事故報告 8 件(内、転倒事故 7 件) DS ヒヤリハット 18 件(内、転倒ヒヤリ 8 件)									
		2	感染症対策					・基本的な感染対策の徹底 ・ボランティア・実習生等の受入れ中止									
		3	事業継続計画(BCP)					・「法人内事業所 BCP 等作成委員会」にて新型コロナウイルス感染症発生時のBCPを作成 ・今年度、職員の 4 人がコロナ濃厚接触者となり、BCP に則り対応した。									
⑤	健全経営の確保	1	新規利用者の受入れ					・令和 3 年度新規利用者 25 人									
		2	事業所活動の周知					・広報 年 3 回発行									
		3	拡大事業 サテライトデイサービス飯地シクラメン					・飯地地区広報発行(年 4 回) ・R3 年 3 月現在登録者数 5 人 (R3 年度 新規 1 人・中止 2 人)									
		4	サービス質の向上					・月 1 回 全体会議 / 月 1 回 カンファレンス									
⑥	成果	・10/5 より飯地シクラメンで夕飯弁当持ち帰りサービスを開始。独居の利用者が活用している。 ・個別レクリエーション「裁縫クラブ」の発足。(11 人が参加) ・R2 年から続く新型コロナウイルス感染症だが、感染予防に努めながら事業活動の継続ができた。 ・ノートパソコンを購入して、リモートの研修や会議に参加することができるようになった。															
	課題	・飯地シクラメン新規利用者が少なく、営業日増は叶わず(週 2 日営業のまま) ・業務効率化のための勤務内容および時間の見直し															

基本方針		令和3年度 事業報告															
①	利用実績	ショートステイ 大井シクラメン															
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		要支援1	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
			延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
		要支援2	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
			延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	3	3	3	14
		要介護1	人数	6	4	7	6	5	5	4	4	5	6	5	5	5	62
			延人数	35	21	24	28	27	22	23	18	23	27	23	27	27	298
		要介護2	人数	11	12	12	12	11	11	12	10	13	11	11	10	10	136
			延人数	83	105	96	87	74	77	77	65	69	74	68	90	90	965
		要介護3	人数	16	18	14	15	15	14	15	16	15	13	16	14	14	181
			延人数	146	164	125	137	142	125	140	143	137	118	113	143	143	1633
		要介護4	人数	7	7	8	8	9	8	6	4	5	7	4	5	5	78
			延人数	50	55	67	57	71	58	58	36	40	45	29	28	28	594
		要介護5	人数	5	4	4	6	6	8	5	8	6	5	5	6	6	68
延人数	38		34	28	37	47	49	37	49	42	40	45	47	47	493		
合計	人数	45	45	45	47	46	46	42	44	45	43	42	41	41	531		
	延人数	352	379	340	346	361	331	335	316	313	307	281	338	338	3999		
		【利用者数（単位：人）】 ＊1日平均利用者数 11.0人〔稼働率 84.3%〕（前年度比人-0.3） ＊1日あたりの利用目標数 11.8人 ⇒ 達成率 93.2%															
		計 画					取組み結果										
②	地域福祉への貢献	1	福祉体験・介護実習生の受入れ					・感染症対策のため受入れを中止									
		2	地域交流(8/28 納涼祭)					・感染症まん延防止のため中止									
③	職員の資質の向上	1	施設内研修の実施					・お茶の水ケアサービス学院フォローアップ研修ネット配信の活用(年9回研修実施)									
		2	介護サービスの質の向上					・感染症まん延防止のため施設外研修は不参加 ・2/4 施設内研修「食事姿勢の基礎研修」実施									
④	安全管理の徹底	1	事故防止委員会					・月一回「事故防止委員会」の開催 SS 事故報告 6件(内、転倒事故 4件) SSヒヤリハット 5件(内、転倒ヒヤリ 4件)									
		2	感染症対策					・基本的な感染対策の徹底 ・ボランティア・実習生等の受入れ中止									
		3	事業継続計画(BCP)					・「法人内事業所 BCP 等作成委員会」にて新型コロナウイルス感染症発生時のBCPを作成 ・今年度、職員の4人がコロナ濃厚接触者となり、BCPに則り対応した。									
⑤	健全経営の確保	1	新規利用者の受入れ					・令和3年度新規利用者 20人									
		2	事業所活動の周知					・広報 年3回発行									
		3	サービスの質の向上					・月1回 事業所全体会議 / 月1回 カンファレンス									
⑥	成果	・季節ごとに利用者と一緒に飾り作品を作ること、和やかな共用スペースにすることができた。 ・R2年から続く新型コロナウイルス感染症だが、感染予防に努めながら事業活動の継続ができた。 ・ノートパソコンを購入して、リモートの研修や会議に参加できるようになった。															
	課題	・居室環境の見直し(壁紙、カーテン、家具等の買替)に着手することができなかった。 ・臨機応変な入退所時間対応が、職員体制の都合で難しい ・業務効率化のための勤務内容および時間の見直し															

令和3年度 事業報告書					
事業部門 基本方針	中津川市シクラメン地域包括支援センター				
		計画	業務	取り組み	
利用者 中心の サービス 提供 (利用 実績 含む)	1	総合相談支援業務	総合相談支援業務	①	相談件数【507件／年】 (内訳／訪問153件、来所46件、電話308件)
				②	相談実人数【105人／年】
	2	高齢者実態把握事業		①	把握件数【65件／年】
	3	台帳・記録の整備		①	高齢者台帳・記録の整備、管理
	4	各種サービスの情報提供及び利用啓発と調整		①	食のアセスメント事業(新・再)【10件／年】
地域福祉への 貢献	1	地域関係機関との連携	総合相談支援業務、 医療連携、生活支援 体制整備含	①	相談協力員懇話会の開催【1回／年】
				②	関係機関会議への出席
				③	地域包括支援ネットワーク会議の取り組み及び会議開催【全体会議1回、事務局会議5回、アンケート調査】
				④	暮らしの保健室の実施(相談事業、健康講座8回／年)
				⑤	阿木診療所、居宅とのカンファレンス開催
				⑥	生活支援コーディネーター、居宅とのカンファレンス開催
				⑦	生活・介護支援サポーターに関する取り組み、定例会の開催
				⑧	NPO 法人阿木ふるさと福祉村による事業への協力、連携
			包括的・継続的ケアマネジメント業務(地域ケア会議)	⑨	地域ケア会議、地域ケア個別会議の開催【4回／年】
	2	地域住民に対し地域づくり、介護予防等への働きかけを行う	介護予防事業	①	介護予防教室開催【18回／年】延べ参加234人 その他出前講座開催【1回／年】
				②	阿木いきいきリハビリ体操指導士養成研修【6名受講】
				③	阿木いきいきリハビリ体操指導士会運営協力【6回／年】
	3	認知症に関する情報提供及び理解の普及啓発を図る	認知症高齢者及び家族への支援業務	①	介護者の集いの開催【3回／年】
				②	認知症サポーター養成講座開催【3回／年】
				③	あぎオレンジカフェ(認知症カフェ)実施なし
	4	虐待防止、権利擁護等の推進	権利擁護業務	①	消費生活、成年後見制度への相談・連絡等の連携
職員の 資質向上	1	各種研修会、会議参加		①	支援センター部会、包括連絡会、包括運営協議会、包括職員各種研修会、法人相談員連携会議、法人BCP委員会その他研修への参加(オンライン含)
安全管理 の徹底	1	地域住民等が安心して利用できる様に務める	個人情報保護	①	守秘義務等法令の順守、包括機能評価の実施と検証
健全経営 の確保	1	サービスの質の向上	組織運営体制、利用者満足向上	①	安定した体制の確保、包括機能評価の実施と検証
その他	1	その他の取り組み		①	機関紙発行、ホームページの作成と更新
成果と 課題	コロナ禍の事業実施に向け方法等を検討し取り組むことができた。ネットワーク会議の中でアンケート調査を実施し、地域包括ケアシステムの具体化への一歩を踏み出した。一方で介護予防事業など思う様に開催できなかった点が課題として挙げられる。その為、次年度は実施に向け、コロナ禍での介護予防の工夫と創造、提案、地域への展開力に取り組んでいく。				